

WAKO GLASS

和光硝子工業株式会社

メッセージ MESSAGE

喜ばれる会社であり続ける。

和光硝子工業の長い歴史の中でいちばん大切にしてきたもの、それはお客様に喜んでもらえる会社であり続けることを第一に考え、常に時代の「つぎ」に備えて、人を育て、創意を重ね、新しい技術へ真摯に取り組んでいく「姿勢」です。

とどまらず 流されず 時代の声に応え続ける。

1909年、日本ではじめて本格的な国産板硝子の量産が開始されました。それから12年後の1921年、日本の硝子産業の拡大にあわせて、当社の前身となる藤本結霜硝子加工所が創業。私たちの硝子加工の歴史がはじまります。

そして、大正・昭和・平成という激動の時代。

建築資材としてスタートした板硝子の市場は、やがて戦後の自動車産業とともに大きく発展し、今ではスマートフォンやソーラーシステムなど、情報通信や環境・エネルギーといった先端分野に欠かせないマテリアルへと進化しました。こうした時代の変化に寄りそいながら、硝子という素材の「可能性」とともに私たちの加工技術も柔軟な進化を続けてまいりました。

暮らしに、社会に、そして未来に、必要とされるものを届ける責任。その一端を担う者として、私たちはこれからも、日本の硝子産業に、なくてはならない企業であり続けたいと思います。

代表取締役社長 藤本賢治

会社概要

COMPANY OUTLINE

組織名 和光硝子工業株式会社

郵便番号 660-0052

住所 兵庫県尼崎市七松町3丁目22-23

電話番号 06-6416-5081

FAX 番号 06-6419-7013

代表者 代表取締役社長 藤本賢治

創業、資本金 昭和23年8月（創立大正10年）、1,000万円

事業内容 ディスプレイ用から産業用まで、各種板ガラスの
切断、面取、洗浄、検査、及び孔明け加工

沿革 HISTORY

大正10年	藤本光治氏が大阪市福島区海老江で藤本結霜硝子加工所を創立 結霜硝子加工・スリ硝子加工を開始
昭和10年	旭硝子(株)との加工契約を結ぶに伴い、兵庫県尼崎市建家町へ移転
昭和23年	旭藤硝子工業へ改称 兵庫県尼崎市七松町へ移転 (現所在地)
昭和31年	和光硝子工業へ改称
昭和32年	塚口事業所を開設、自動車用硝子加工を開始
昭和42年	豊田事業所を開設、自動車用硝子加工を開始
昭和45年	武豊事業所を開設、自動車用硝子加工を開始
昭和47年	豊田事業所を武豊事業所へ集約
昭和49年	店舗用硝子の加工・施工販売を開始
昭和50年	旭硝子(株) AIS (旭インテリアシステム) 代理店契約を結ぶ
昭和51年	需要の減少によりスリ硝子加工から撤退
昭和53年	産業用硝子加工用 (TVラック他) に自動両面取機を導入
昭和56年	塚口事業所を閉鎖、尼崎事業所を開設
昭和62年	自動車用三角窓 (VQ) の加工開始
昭和63年	尼崎事業所・武豊事業所を閉鎖、加工拠点を本社工場へ集約
平成 2年	液晶用薄板加工を開始
平成 2年	エッジライト検査を導入
平成 7年	フォトマスク用自動両面取加工を開始
平成 9年	PDP用硝子加工を開始
平成10年	ソーラー用硝子加工を開始
平成20年	店舗用硝子の施工事業より撤退

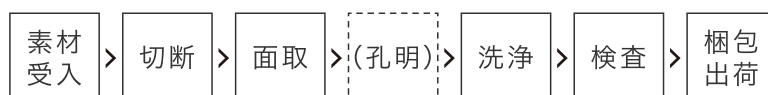


試作から量産まで、 多品種少量に対応した生産体制。

1枚の硝子加工から量産まで、柔軟かつスピーディに対応する体制を確立。様々なサイズや形状、用途に応じて最適・最速の加工体制を組み上げ、お客様の多様なニーズに応えます。

加工ライン

切断から面取、孔明・洗浄・検査までの一連の工程を行う9本の加工ライン。加工サイズや検査規格、お客様の指定などによって厳密に管理されています。



オフライン設備

「切断・検査」「洗浄・検査」などフルラインを必要としない作業や、異形品・少量品の加工などを、ラインから独立した設備によって短時間で仕上げます。

切断機	FT切断機 1台 NC切断機 2台
洗浄機	温水洗浄機 5台 酸セリ洗浄機 2台
半自動手面取機	2台
孔明け機 (φ1～φ400)	5台

保管管理

当社では、工場棟とは別に面積およそ2500㎡の専用倉庫を備え、デリケートな硝子素材を細心の注意を持って保管管理しています。

人を生かし、プロセスを見つめ、
確かな品質をつくる。

ものづくりのクオリティは、プロセスによって大きく左右されます。私たちはその工程に熟練した「人の手と眼」をバランスよく配置することで、頻繁に入れ替わる多種多様なワークに柔軟に対応し、その一つひとつを丁寧に仕上げていきます。その基本には「日本のものづくり」の原点を守る、という思いがあります。

01 機械化だけに頼らない、柔軟でスピーディな対応力。

和光硝子工業の生産ラインは、その工程の約半分を熟練した人の手にゆだねています。そのため加工品の変更に伴うラインの組み替えや調整などの時間を最小化することが可能となり、量産型工場では対応できない小ロット・超短納期のオーダーにも、確かな品質でお応えすることができます。

02 試作から量産までをつなぐ、開発パートナーとして。

持ち味である柔軟さとスピードを生かし、製品開発にも積極的に協力しています。試作品の加工からモデルラインの開発、そして準量産体制の構築まで、本格量産に向けたパイロットプロジェクト全般に対応。その全てを自社内で完結できるため、機密保持の観点からも高い信頼を得ています。

03 より良い人材育成に向け、全従業員を正社員雇用。

硝子産業界において高い信頼を維持するために、私たちが最も力を入れているのが人材の確保と育成です。一人ひとりが熟練したスキルと高いモラル、そしてモチベーションを維持できるように。創業以来今日まで、パートや派遣社員に頼らず、全ての従業員を正社員として雇用しています。

04 時代の変化に先がけて、常に進化する生産体制。

より薄く、より軽く一絶え間なく進化をつづける産業用硝子。私たちは、市場の変化や新たなニーズに眼をこらし、近い未来を視野に入れた技術導入と人材育成に常に取り組んでいます。「時代が変化する前に、先がけて対応する」それが、長年の経験値から導き出した私たちの哲学です。

05 多品種少量に対応した、きめ細かな品質管理。

サイズや用途が異なる多様な製品は、それぞれの検査規格に応じて決められたラインに投入され、エッジライト検査と、検査員による目視確認を経て梱包・出荷されます。その際に選別された「品質情報」は製品ごとに厳密に仕分けされ、詳細なデータとともにフィードバック致します。

アクセス ACCESS

〒660-0052 兵庫県尼崎市七松町3丁目22-23

